

第2学年3・4組女子 保健体育科学習指導案

指導者 松村 咲希

1 「分かる」授業に向けての工夫

「分かる授業」のために、体育科では技能ポイントの確認や個々の課題の把握につながるグループ活動を取り入れることが有効だと考える。自己評価や他者評価を通して、自分のつまづきを把握させるとともに学習意欲ならびに運動技能の向上につなげていきたい。また、グループ内での思考活動を多く取り入れていくと同時に、運動が苦手な生徒への関わりを大切にしていきたい。

2 題 材 バレーボール

3 題材について

(1) バレーボールは、コート上でネットをはさんで相対し、身体や用具を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うゲームである。パスをつないでラリーが続くところ、さらに次の段階では、ラリーが続く中でレシーブ、トス、スパイクの3段攻撃およびその防御といったバレーボール本来のゲームの流れを味わうところを楽しさがあると考え。

(2) 本学級の生徒は、3組16名、4組16名、計32名で活動している。第1学年では、パスやサービス、スパイクなどの個人的技能のみ練習している。全体の約7割の生徒が小学校時代にソフトバレーボールを使った授業を経験しているが、パスの練習を行ってみると、個人差があり、基本技能が身につけているとはいえない。バレーボールに関する興味・関心は9割以上の生徒が高く、進んで取り組み、技能を身につけ楽しもうとする意識を持っている。あまり得意ではない生徒も、自分なりに課題を解決しようとする姿勢が見受けられる。

(3) 以上のことをふまえて、指導にあたっては次の点に留意したい。

○絵図・写真・資料等を用いて、知識・理解の定着と同時に、運動が苦手な生徒への手立てにもつなげたい。

○パスやサービス、スパイクなどの個人的技能を定着させるためにバレーボール部員などを活用し、丁寧に教える場面と、生徒に考えさせる場面を設定して取り組ませたい。

○アドバイスや賞賛などの場を設けることで、グループ活動の充実につなげていきたい。

○3段攻撃につなげるための手立てとして、ルールの変換な工夫を図り、バレーボールの特性をつかませたい。

4 学習指導目標

(1) コートや用具の安全な使用に留意し、互いに協力し合うとともに、ルールやマナーを守りながら練習やゲームに取り組むことができる。

(2) 個人やチームの課題を発見し、それに応じた練習方法や作戦を思考しながら学習に取り組むことができる。

(3) バレーボールの個人的技能や集団的技能を高め、より多くのパスラリーをすることで3段攻撃の楽しさに触れることができる。

(4) バレーボールの各種技能の要点やゲームのルールについて理解を深めることができる。

5 題材の評価規準

運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	運動や健康・安全への 思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全への 知識・理解
・バレーボールの楽しさや喜びを味わうために、良い動作を認め、分担した役割を果たし、安全面に留意して学習に積極的に取り組もうとしている。	・技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけることができる。 ・仲間と学習する場面で、仲間の良い点や安全面等を指摘しようとしている。	・ボールや用具の操作などの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開している。	・バレーボールの特性や成り立ち、技の名称や試合の行い方等について理解している。

6 学習指導計画・・・(計10時間本時6／10時間)

時間	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	10
学習 内 容	○基本技能の習得練習 (パス、サービス、スパイク等)		○ネットをはさんだ練習(パス、スパイク、サブレシーブ等) ○セッターを活用した練習 ○簡易ゲームと反省(課題発見)			○パス練習、チーム練習 ○ゲームにおけるチームの課題解決の学習 ○簡易ゲーム				

7 本時の学習指導

(1) 目 標

- チームで協力しながら3段攻撃の練習やゲームをしようことができる。
- 基本技能を高めるとともにチーム内で3段攻撃を行うことができる。
- 3段攻撃につなげるための、パス・トスの重要性とその要領について理解できる。

(2) 準備物 バレーボール、バドミントンコート、ポスト、ネット、「中学校体育実技」、筆記用具、ホワイトボード、ホイッスル、得点板、マジック

(3) 学習指導過程（太字：分かる授業の工夫・改善点）

学習内容及び学習活動	教師の支援活動と留意事項	評価方法と評価基準
1. 準備運動、補強運動をする。 2. 集合、整列、あいさつをする。 3. 基本練習をする。 (1)パス練習 ・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス (2)サーブとサーブレシーブ 4. 学習課題の確認をする。	・体育委員を中心に準備運動・補助運動を正確に行わせる。 ・生徒の健康状態を確認し、敏速な集合や整列、正しい気をつけの姿勢、服装の点検をし、学習規律を確認する。 ・練習の流れや技術のポイントを確認して実施させる。(パスやサービス時のボールを受ける位置や体の向き等)	
3 段攻撃につなげ、ミニゲームで楽しもう		
5. 3段攻撃の練習をする。 6. 4対4のミニゲームをする。 【特別ルール】 ・3段攻撃には得点以外に1点を加算する ・触球回数を制限しない 7. 本時の学習を振り返る。	・ 3段攻撃のポイントや動きを絵図、写真を使って説明する。 ・ゲームを意識して練習できるようにセッターを中心にしたパス練習を中心に行わせる。 ・ グループでの声かけを意識させて練習に取り組ませる。 ・パスを活用してボールをつなぎ、スパイクで終わるよう尽力させる。 ・パス時の体の向きを意識させるように助言を行う。 ・ゲームの中で3段攻撃を意識できるように、特別ルールを活用して実施させる。 ・ 相手チームへのあいさつや自チームへの声かけを積極的に行わせる。 ・ホワイトボードによりチーム内の成果、課題等をまとめさせる。 ・チームの課題を振り返らせるとともに、教師のアドバイスや感想を話し、次時のゲームのイメージ作りを行わせる。	○個々の技術を発揮し、3段攻撃につなげることができているか。 (観察) a. 3段攻撃のポイントを意識してゲームの中で技能を発揮できる。 b. 3段攻撃のポイントを意識して、個々の技能を発揮しようとする。 c. 3段攻撃のポイントについて理解が不十分で、技能が発揮できない。考えてゲームに臨めていない。 ※cの生徒には、リーダーを中心にチームに助言をする。